

サントリー株式会社の事業適応計画のポイント

令和5年7月12日

弊社グループは「人と自然と響きあう」を使命に掲げ、大切な経営基盤である地球環境を守るべく、「環境ビジョン2050」にて、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出の実質ゼロを目指しています。また「環境目標2030」では、自社拠点で50%、バリューチェーン全体で30%のGHG排出削減という環境目標を掲げています。この目標に向けて、生産効率向上含めた省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギーの積極的な導入を通じてCO₂などの温室効果ガス排出の削減に努めます。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年1月～2024年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を77.2%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

・瓶詰めライン新設

伸長するスピリッツ、ウイスキー等製品を既存ラインよりも高速かつ高効率で製造できる瓶詰ラインを新設し、炭素生産性を向上させます。

・リキュール製品液調合設備増強

大規模な数量で製造しているリキュール製品液を既存設備よりも大ロットかつ高効率で製造できる調合設備を導入し、炭素生産性を向上させます。

・スピリッツ・ウイスキー製品液調合設備増強

大規模な数量で製造しているスピリッツ・ウイスキー製品液を既存設備よりも大ロットかつ高効率で製造できる調合設備を導入し、炭素生産性を向上させます。

・再生可能エネルギーへの切替

自社生産研究拠点の電力を再生可能エネルギーに切り替えることで、炭素生産性を向上させます。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

高効率の瓶詰めラインと製品液調合設備を導入する工場概要

サントリー株式会社
大阪工場



所在地

〒552-0022 大阪府大阪市港区海岸通3-2-30

主要生産品目等

洋酒、焼酎製造

